

取 扱:本資料の配布を持って解禁とする

平成26年度千曲川河川事務所事業の概要について

平成26年1月に策定された「信濃川水系河川整備計画」に基づき、千曲川及び犀川において平成26年度に以下の事業を実施します。

(事業のポイント)

1 河川改修関係

平成18年7月出水規模の洪水を安全に流下させるため、戸狩^{とがり}地区狭窄部区間の河道掘削、無堤地区間及び弱小堤区間の堤防整備を実施します。

- ・狭窄部区間：立ヶ花^{たてがはな}・戸狩^{とがり}狭窄部区間 河道掘削
- ・無堤地区間：中野市替佐^{かえさ}地区において堤防整備
- ・弱小堤区間：中野市^{おおまた} 大俣^{かみいまい}地区、上今井^{うしで}地区、牛出^{くりばやし}・栗林^{くりばやし}地区 堤防整備
安曇野市^{おぎわら} 荻原^{おぎわら}地区 堤防整備

2 河川維持修繕関係

千曲川及び犀川・梓川の河川管理施設等の点検・維持管理及び修繕を行います。

3 河川環境整備関係

千曲川中流域（犀川合流点から上流の千曲川本川）において、砂礫河原の保全・再生を実施します。

【 問い合わせ先 】

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

副所長(技術) 山田 幸男

調査課長 吉田 俊康

電話 026-227-7611 (代表)

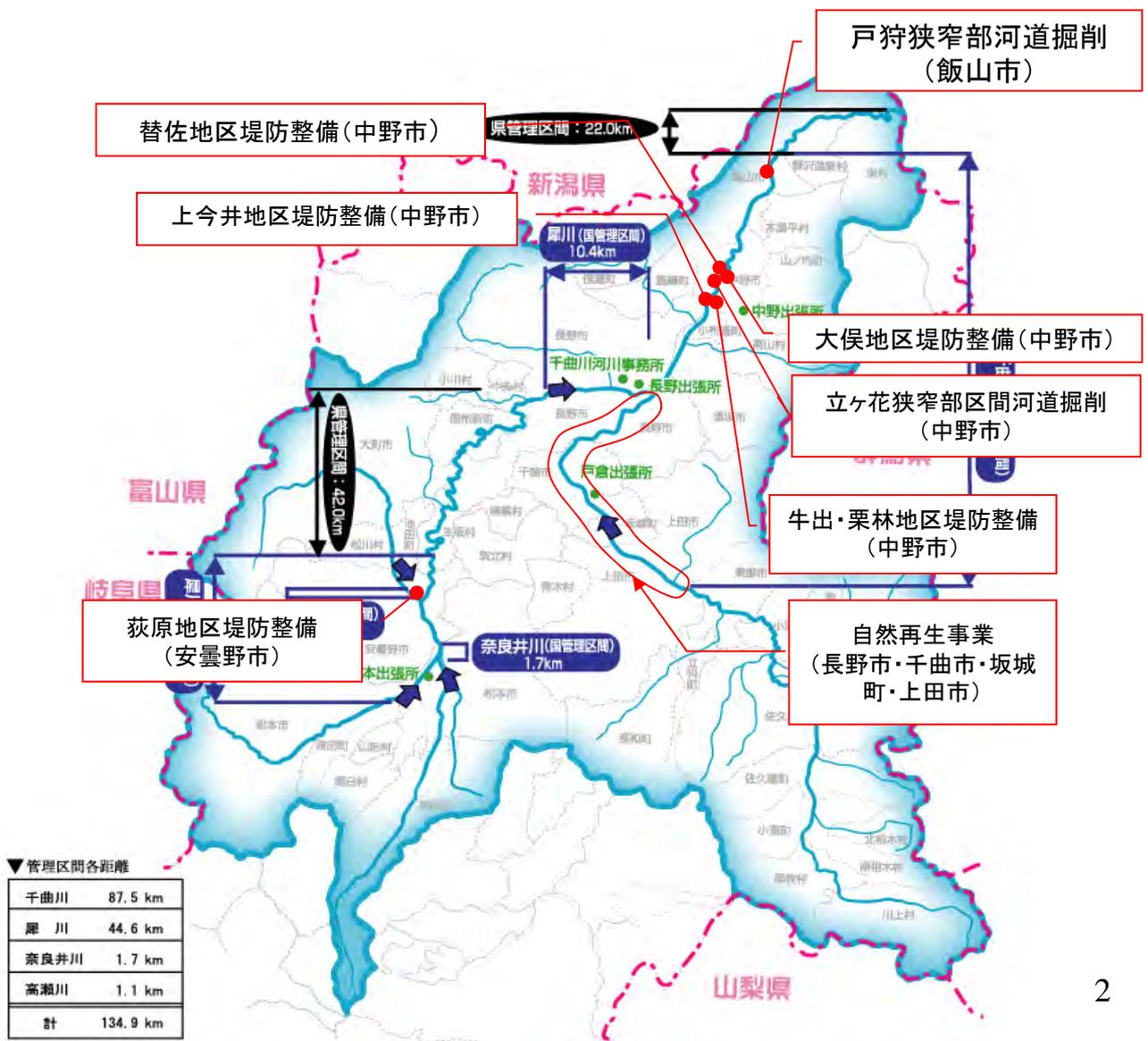
<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

1 千曲川河川事務所の事業方針

千曲川・犀川は地域の大切な宝であることを常に意識し、治水安全度の低さや豊かな河川環境、川に対するふるさとの想いを念頭に置き、地域と連携しながら以下の方針で事業を進めます。

- ◆人々の生命・財産を災害から守るために全力を尽くす。
- ◆千曲川・犀川の自然環境を大切にし、詩情豊かで潤いのある川づくりを推進する。
- ◆河川の整備と管理を通じ、活力ある地域づくりの実現に貢献する。

2 平成26年度 実施予定箇所 位置図



3

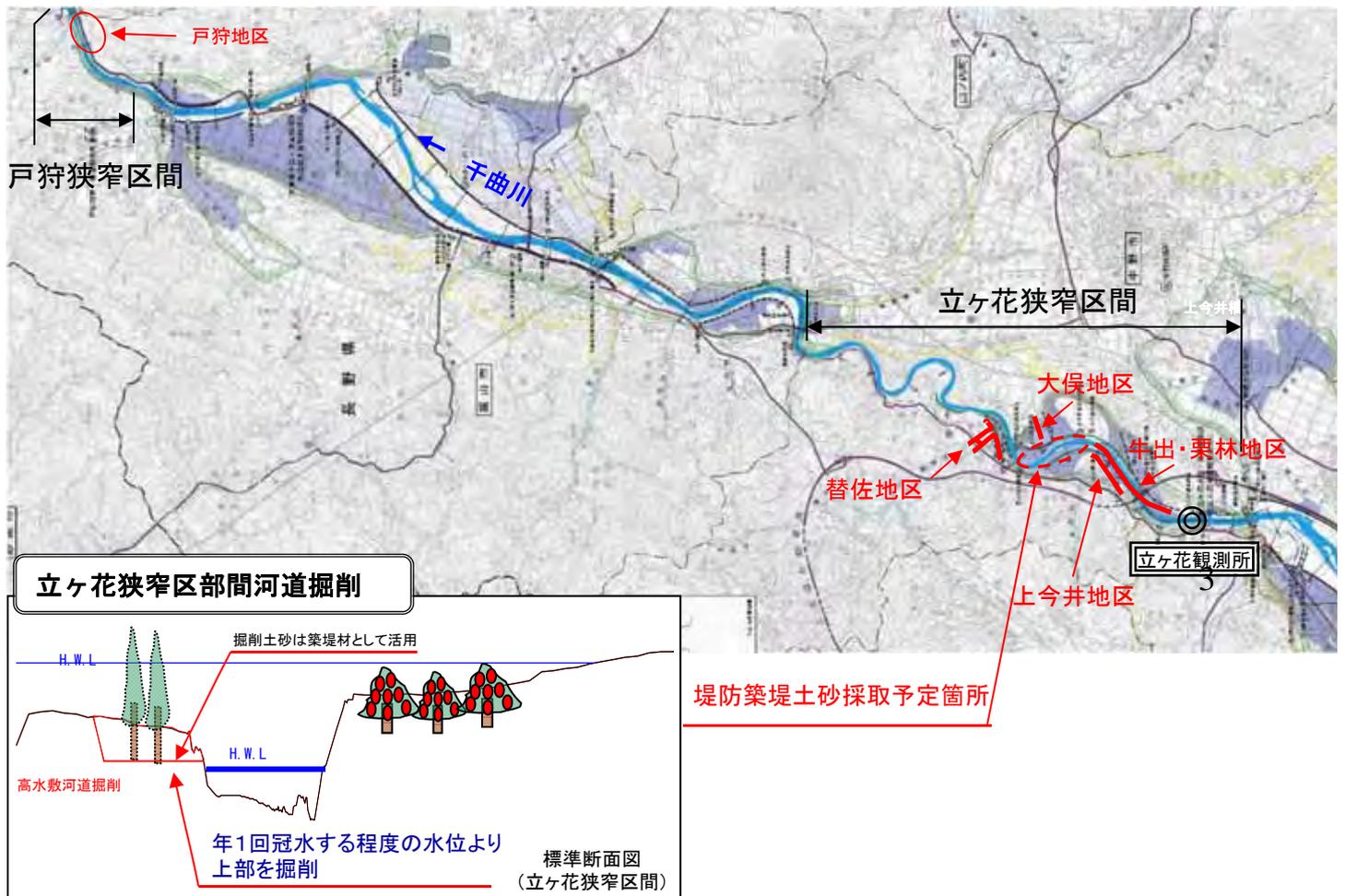
事業実施箇所の概要

建設コスト縮減を意識した河川改修の進め方

【狭窄部区間の河道掘削土砂を堤防整備に活用】

平成18年7月規模の洪水を安全に流下させるため、**上下流の治水安全度のバランスに配慮し**、立ヶ花・戸狩狭窄区間の河道掘削を実施します。

なお、掘削した土砂は、弱小堤区間（大俣地区、上今井地区、牛出・栗林地区）、無堤区間（替佐）及び長野県の堤防整備箇所（下境地区、飯山地区）に活用し、建設コスト縮減に努めます。



3 事業実施箇所の概要

①河川改修事業（千曲川）

とがり

【戸狩地区（飯山市）】

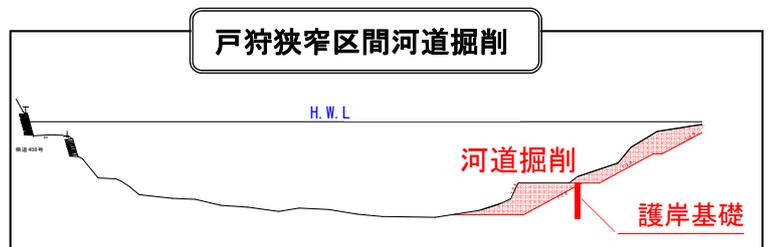
- 1) 事業の目的：平成18年7月規模の洪水を安全に流下
平成18年7月規模の洪水を安全に流下させるため、上下流の治水安全度のバランスに配慮し、戸狩狭窄部区間の河道掘削を実施します。

- 2) 全体計画

掘削延長 約 1.0 km

- 3) 平成26年度事業の内容

河道掘削及び護岸整備を推進



▲戸狩地区

3

事業実施箇所の概要

②河川改修事業（千曲川）

かえさ

【替佐地区（中野市）】

1) 事業の目的：無堤地区間を解消し、浸水被害を防止

中野市替佐地区は、昭和57・58年、平成16・18年の相次ぐ水害により多数の浸水被害が発生している無堤地区間であり、千曲川本川から支川^{まだらおがわ}斑尾川への背水影響区間の築堤を行い治水安全度の向上を図ります。

2) 全体計画

堤防延長 $L = 1,798 \text{ m}$

JR橋梁改築

3) 平成26年度事業の内容

堤防を整備し、一連区間の整備完了



▲替佐地区

3 事業実施箇所の概要

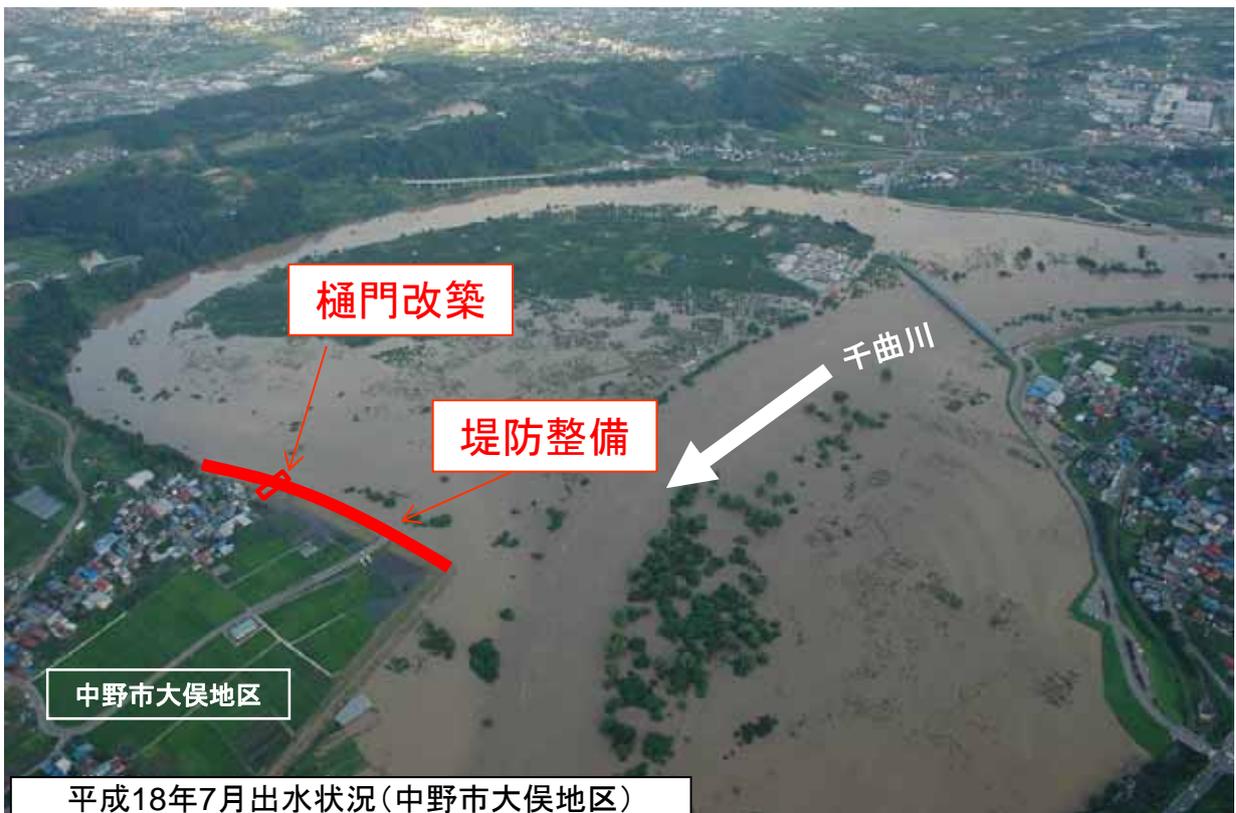
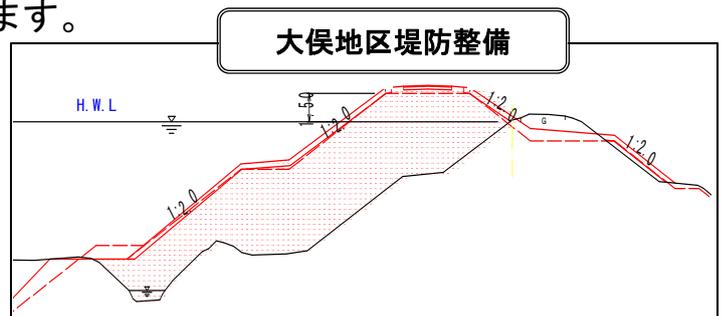
③河川改修事業（千曲川）

【^{おおまた}大俣地区（中野市）】

- 1) 事業の目的：平成18年7月規模の洪水を安全に流下
中野市大俣地区は、堤防の高さと幅が不足する堤防であり、洪水を安全に流下させるため、堤防を強化します。

- 2) 全体計画
堤防延長 L = 500 m
樋門 1 基

- 3) 平成26年度事業の内容
用地補償及び堤防・樋門の整備を推進



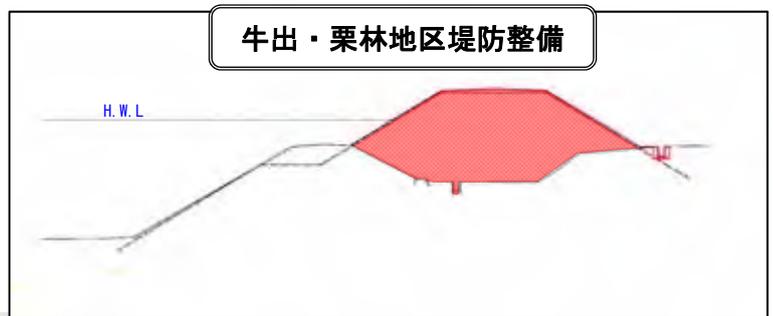
▲大俣地区

3 事業実施箇所の概要

④河川改修事業（千曲川）

【牛出・栗林地区（中野市）】

- 1) 事業の目的：平成18年7月規模の洪水を安全に流下
中野市牛出・栗林地区は、堤防の高さと幅が不足する堤防であり、洪水を安全に流下させるため、堤防を強化します。
- 2) 全体計画
堤防延長 $L = 1,660\text{ m}$
- 3) 平成26年度事業の内容
用地補償及び堤防整備を推進



▲牛出・栗林地区

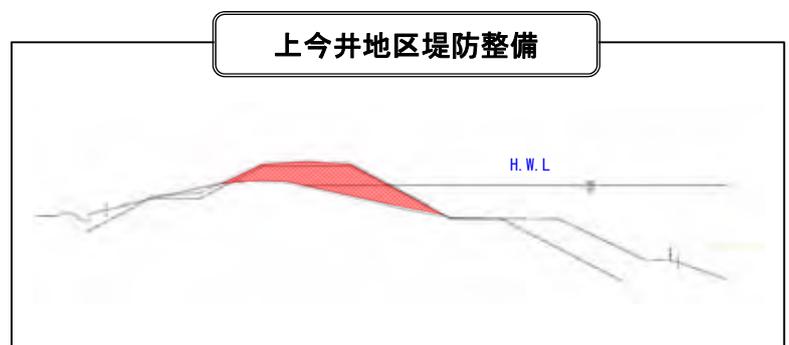
3 事業実施箇所の概要

⑤河川改修事業（千曲川）

かみいまい

【上今井地区（中野市）】

- 1) 事業の目的：平成18年7月規模の洪水を安全に流下
中野市上今井地区は、堤防の高さが不足する堤防であり、洪水を安全に流下させるため、堤防を強化します。
- 2) 全体計画
築堤延長 $L = 990\text{m}$
- 3) 平成26年度事業の内容
堤防整備を推進



▲上今井地区

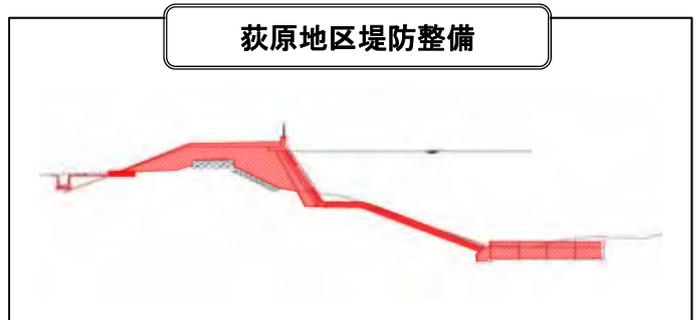
3 事業実施箇所の概要

⑥河川改修事業（犀川）

おぎわら

【荻原地区（安曇野市）】

- 1) 事業の目的：平成18年7月規模の洪水を安全に流下
安曇野市荻原地区は、堤防の高さと幅が不足する堤防であり、洪水を安全に流下させるため、堤防を強化します。
- 2) 全体計画
築堤延長 $L = 775\text{ m}$
- 3) 平成26年度事業の内容
用地補償及び堤防整備を推進



H18.7 安曇野市荻原地区の洪水状況



▲荻原地区



3

事業実施箇所の概要

⑦総合水系環境整備事業（千曲川）

【千曲川中流域自然再生事業（長野市・千曲市・坂城町・上田市）】

1) 事業の目的：千曲川本来の砂礫河原の保全・再生

千曲川中流域の樹林化の抑制及びアレチウリ等外来生物の拡大防止を図り、瀬・淵やワンド、砂礫河原等の多様な生物が生息・生育・繁殖できる環境を保全・再生します。

2) 全体計画

砂礫河原保全・再生（河道掘削）20箇所

3) 事業の経緯

平成16年度より着手し、5箇所実施

平成25年度「千曲川中流域砂礫河原保全再生検討会」設置

4) 平成26年度事業の内容

検討会の意見を踏まえ砂礫河原の保全・再生を実施



河川敷に繁茂するハリエンジュ、アレチウリ



河道掘削実施箇所

〈砂礫河原の創出・保全の事例〉

出水前



河道掘削により高水敷高切り下げを実施。その後出水前は植生が繁茂

出水後



洪水による自然のインパクトにより砂礫河原の環境が維持された。

自然再生事業により砂礫河原が再生した箇所
（千曲市戸倉地先）



冠水頻度を高める河道掘削のイメージ



第1回検討会開催状況